





黒いモノ

FIEND 黒

R-18

ご挨拶

はじめまして&こんにちわ
サークル黒いモノで活動中の紅玉です。

FIEND IS2をご購入ありがとうございました。
今回はFIENDの続編です。

前回削った分を全て出し切りました。
少しでも楽しんでいただけたら幸いです。

ではではまたどこかでお目にかかれることを祈って。

発行日 2011 11 27

発行 黒いモノ

印刷 大陽出版 様

連絡先 akadamatenpo@yahoo

<http://b.dlsite.net/RG08665-kuroimono/>

[注意]

この物語はフィクションです。
実在の人物・団体・事件とは一切関係ありません。
本書籍は成人向けのため、18歳未満の方への配布は
お断りさせていただきます。
また本書のスキャン画像等の無断掲載、共有ファイル
としての私用行為ご縁量下さい。

黒いモノ



い・い・や

たつぷりと
チンコの良さを
教え込んで
やるよ



処女とも
お別れしたことだし



ひやああああ

いいぜえ
チンコが
ギューギュー
締め付けられる

もう
出ちまいそうだ



いやでも
逆らえねえ
だろう？

ひやああああ



ほらまずは
中に一発だ



一生性奴隷になるって誓いのキスだぜ

ほら口開けるって

こっちちやんと見ろよオレとの誓いのキスだ

開けるって

ウブウ



そうか？

ち・違う

なんだ？キスだけでいっちまったのか？

そうだよなキスと中出し一発じゃ満足できねえよな

ヒクッ

ムムム

ムムム

満足いくまで
たっぷりと中に
出しまくって
やるよ

オレのチンポも
精液も忘れらない
ように体に刷り
込んでやるからよ

港に着くまでの
3日間でじっくり
調教してやる

あんな
インポヤロー
どうでも良く
なるようにな

一夏あ



ほら今度は
そっちが上だぜ

あひやあ

無理です
こんなのもう
限界れす

んなこと
あるかよ

足に力入れずに
腰をそのまま
下ろすだけだぜ

5



自分の重さで
ドンドン
奥に入ってくる
だろうが

さっさと
腰下ろし
ちやえよ

そんな
踏ん張たって
無駄なんだよ

無理だよ
こんなの

ほら！
さっさと
しろ

もうこれ以上は
入らない



くはああああ

ほれみろちゃんと
チンポが根元まで
入ったじゃねえか

ひょんらころ
言っても



さああ
自分で腰振って
チンポをしごけ

ムリ!
そんなの
でひないよおお

ムリじゃねえ
やるんだよ
雌ブタが!



そうそう
いい感じだぜ

そうやって
パンパン
リズム良く
腰振ってる

流石はさっきまで
処女マンコだけだった
ことはある

良い締め付け
具合だ



ほら一発目だ

もうゆるひひてえ

船長

そろそろ
オレラも
混ぜて下さいよ



外よりも中の方が
落ち着くだろうか？

オレらは
船長よりは
優しいからな

シャルちゃんに
本当に気持ちの
良いこと教えて
やるぜ

にしても
女抱くなんて
久々だぜ

見ろよこの乳
牛みたい
垂れ下がってる

若いから
肌もプルプルだ
たまんねえ

船長の後だけど
マンコもまだまだ
キレイだ



脇汗も
たまんねえよ

足指まで
ちやんと
嘗め回して
やるからな

おい！
乳首が
ギンギンに
ポツキしてんぞ



嬉しいねえ
シャルちゃんも
喜んでくれてるんだ

ち・ちがう
これは

最高に感じ
ちやつてるん
だよなあ

そんなことない
もうこんなの
いやだよ



おいおい
何言ってるんだよ

これから一生
シャルちゃんは

ヒヤヒヤ

マンコ弄られて
突っ込まれ
続けるんだぜ

少なくとも
この3日はな

ちゃんとやる気
ださねえと
三日間休み無しだぜ

体の穴という穴
駆使しなきゃ

俺たち全員を
満足させられねえぞ

全員満足させる
までは休み無し

そんひやああ

不眠不休の72時間
になっちまうぜ

このかわいい
お口も

ひやあ

お手ても

いい子だねえ
シャルちゃんは

チンポをその
でかいおっぱいで
がっちり挟んで

スリスリ
それが
パイズリだよ

ひゃあい

お礼にオレも
気持ち良くして
やるよ

早く！早く！
射精しちゃってよ

ほら
クリ舐め
だぜ

ハヒィ

ひやめえ
そこやめて
によこ舐めないで

ブヒヒヒ
クリちゃん
弄られるの
気にいたつか

ダメそこ
ダメになっちゃう

ほれもう
一本チンポ追加
してやっから
そう騒ぐな

オヒンポ？

そうだぜ
しっかりご奉仕
すんだ

クリトリス舐められて
意識飛びそうなのに

チンポ舐めるの
止められないよおお

穴は一つじゃねえぞ
シャルちゃん

え？

おし・お尻に
入ってる
オヒンポ入ってる

違うよ
そこオチンポ
入れるとこ
じゃないよ

それが入っち
まうんだよ

ほら精液飲んで
元気だせって

ひたいいい

大丈夫だよ
変態シャルちゃんなら
すぐ良くなるって

アビュウウウ

おら！
今なら前の穴がまだ
空いてんぞ
先着一名様だぜ！

なら
ありがたく
頂戴しますぜ

いやああ
ムリ！ムリ！

お願い
だからやめ





入ってる
ボクのお尻も
オマンコも

同時にチンポ
突っ込まれて
りゅうう

こんにゃの
おかしいよ



二つとも
射精してりゅう
中でいっきに
出てりゅう

びしょ



どうだシャルちゃん
二穴責め良すぎ
たまらねえだろ？

もういや
やめてよ

ボク
おかしくなる
ダメになっ
ちゃうよお



ダメに
なっていんだよ

チンポとマンコだけ
わかりやいいんだ

どうせこれからは
性奴隷として
生きてくんだからな



そんでお前は
何分に賭ける？

一分！

そりやねえだろ
せめて三分

二分だ！

一分！

そろそろ始めんぞ
ええと



おひよおおおおお

百二十五戦目
スタートだ

おいおい
もう絶頂かよ？

何分もった？

残念一分たって
ねえよ

なんだよ
速攻じゃんか

次から
秒賭けだぞ

いやら
もう休ませて

寝かシエて
くらしゃい

おい！

ちよつと
シャルちゃん
起こせ

依頼人が
喋りたいって

もう
すぐそつちに
着きますよ

はい
もしもし

ええ

おい！
起きろ
シャルちゃん！

ほらお前を
買ってくれるっていう
ご主人様が
お話したいってよ

「ち・んぽ」

縄解いたんだから
ちやんと座れよ

おっともう
シャルちゃんは
喋らなく
ていいよ

これでも
しゃぶってな

やあシャルル
薄汚い連中に
相当かわいがって
らってるみたいだね

一つ雌ブタの
鳴き声でも
聞かせくろ

いやああ
こんな人に
聞かれたくない

父様



大丈夫ですよ
ヤローの方も
無事ですって

そうか

クククク
学園に逃げ込んだ
くらいで私から
逃れられると思うなよ

私を裏切ったことを
死ぬほど後悔させて
やろうシヤルル

ところで

泣き声が良く
聞こえなかったの
もう一度頼むよ

